

### <講評>

2023 年度の「外国語コンテスト（英語部門）」は、12 月 7 日（木）の午後 2 時半より、愛知大学非常勤講師のローラ・リー・クサカ先生とポール・リンガー先生を審査員にお迎えして開催されました。第 29 回目である今年度は、コロナ禍を経て、3 年ぶりに対面で開催する運びとなりました。

英語部門では、昨年度より、指定のテーマについて、自分の意見を 500 語程度の英語で発表するという形式でコンテストを実施しております。今年度は、国際コミュニケーション学部、経営学部、法学部、そして協定留学生をあわせた計 10 名が、コンテストに応募してくれました。残念ながら体調不良により 1 名欠席となりましたが、当日は約 40 名のオーディエンスが集まり、大変活気あるイベントとなりました。

国際コミュニケーション学部 3 回生の濱島知寿さんと田中杏奈さんによる進行の元、9 名の学生が、今年度のスピーチのテーマである“**What Happiness Means to You**”（自分にとって「幸せ」とは何を意味するか）について（自分の日常生活の中で感じた幸せや、失敗や苦労した経験から感じた幸せなど）様々なエピソードを交えながら、大変興味深いスピーチを発表してくれました。

「幸せ」が何を意味するのか、誰もが普段から様々な場面で考えていることだと思いますが、それを人に伝わるように言語化することは、母語でも難しいことのように思います。ましてやそれを外国語で表現し、大勢の知らない人の前で話すことはとても勇気がいることだと思いますが、今回参加してくれた 9 名の発表者は、どの人も自分自身が今考える「幸せ」の定義を明確に理解する努力ができてだけでなく、それを英語のルールにのせて適切な単語や構文を選びながら堂々と発表できていました。そして何よりも、(抑揚や強弱等の) 声の使い方から、全体的な立ち振る舞い、ジェスチャー、間の取り方に至るまで、人に伝えようという熱意が非常に伝わってくるレベルの高いパフォーマンスばかりで、どのスピーチもとても心に響きました。

例年と同様、審査員の先生方には、スピーチの内容、表現の正確さ、発音の流暢さ、プレゼンテーションスキルを総合的に判断し評価していただきました。

審査の結果、2023年度「外国語コンテスト（英語部門）」の入賞者は、以下の通りになりました。

\*\*\*\*\*

- 1位： 23es1019 Jeon Hyeongwoo (協定留学生) “Three Elements of Happiness”
- 2位： 22k1102 市川 道代 (国際コミュニケーション学部) “Happiness Is What You Can Make It”
- 3位： 23k2111 曾 安娜 (国際コミュニケーション学部) “What Does Happiness Mean to You?”

\*\*\*\*\*

どのスピーチも、内容・パフォーマンス共に大変完成度が高く、審査員の先生方も大変悩まれていましたが、今回のテーマに対するメッセージの明確さ、英語の流暢性、構成面の工夫、アイコンタクトやジェスチャー、語彙の使い方等において、大変レベルの高いスピーチを行ってくれた協定留学生の Jeon Hyeongwoo さんが1位に選ばれました。Jeon さん、素晴らしいスピーチをありがとうございました。優勝おめでとうございます！

惜しくも今年に入賞できなかった皆さん、来年度もぜひコンテストに挑戦して下さい。そして今年オーディエンスとして参加した学生の皆さんも、来年度はぜひ発表者として参加してみてください。英語で大勢の前で話す経験は、皆さんにとって大きな自信となると思いますし、コンテストを通じて多くの人と繋がるかけがえのない経験になると思います。皆さんの来年度の参加を心よりお待ちしております！

(生駒万貴、ウィリアム・ブルックス)